広報ひかわ

Hikawa

11

November2022　№205

木々が色づく季節

主な掲載記事

・まちの家計簿～令和3年度決算報告～
・下水道使用料の改定
・令和5年度園児募集

令和3年度

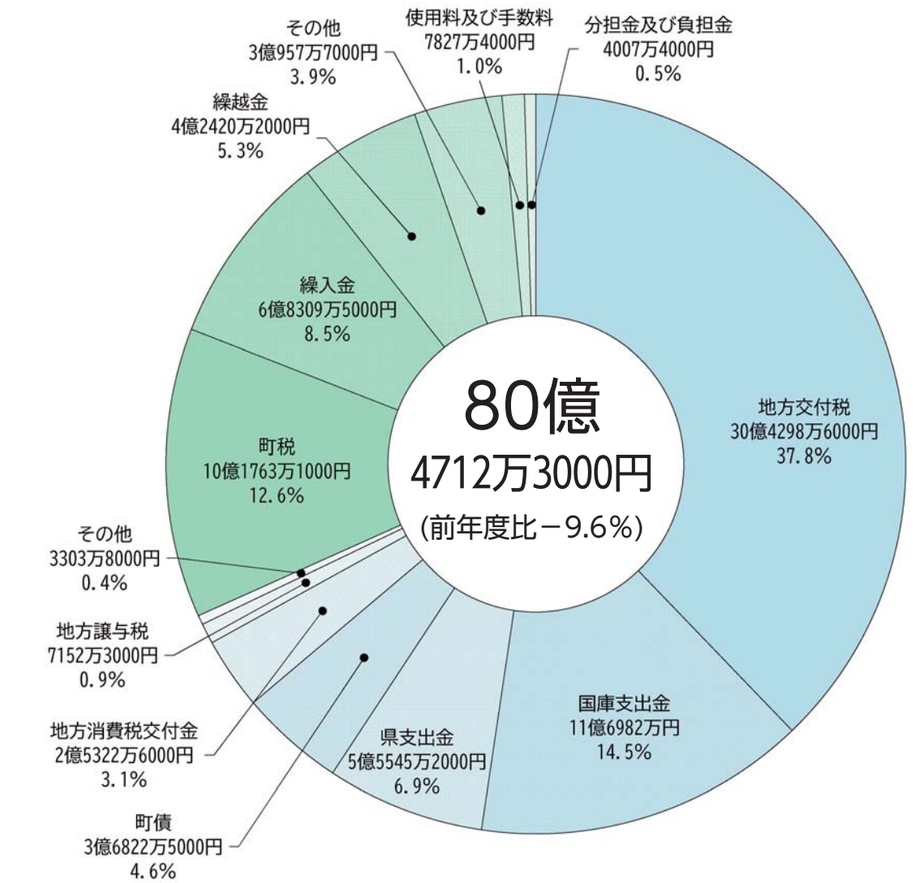
まちの家計簿

決算報告

令和3年度の決算状況や令和4年度上半期の執行状況など、まちの財政事情をお知らせします。
皆さんに納めていただいたお金は、どのように使われているのでしょうか。

問　企画財政課　財政係　☎0965-52-5850

一般会計 歳入



歳入概要

新型コロナウイルスに関連する特別定額給付金の減少などにより、前年度に比べて8億5192万円の減額となりました。

内訳は、自主財源※1が25億5285万3000円、依存財源※2が54億9427万円となっており、歳入の約68％は依存財源が占める結果となりました。

※1自主財源…町税、繰越金、使用料及び手数料、基金繰入金など、町が自主的に収入できる財源。

※2依存財源…地方交付税や国・県からの補助金、町債など、国や県が定めた額が交付されて得た財源。

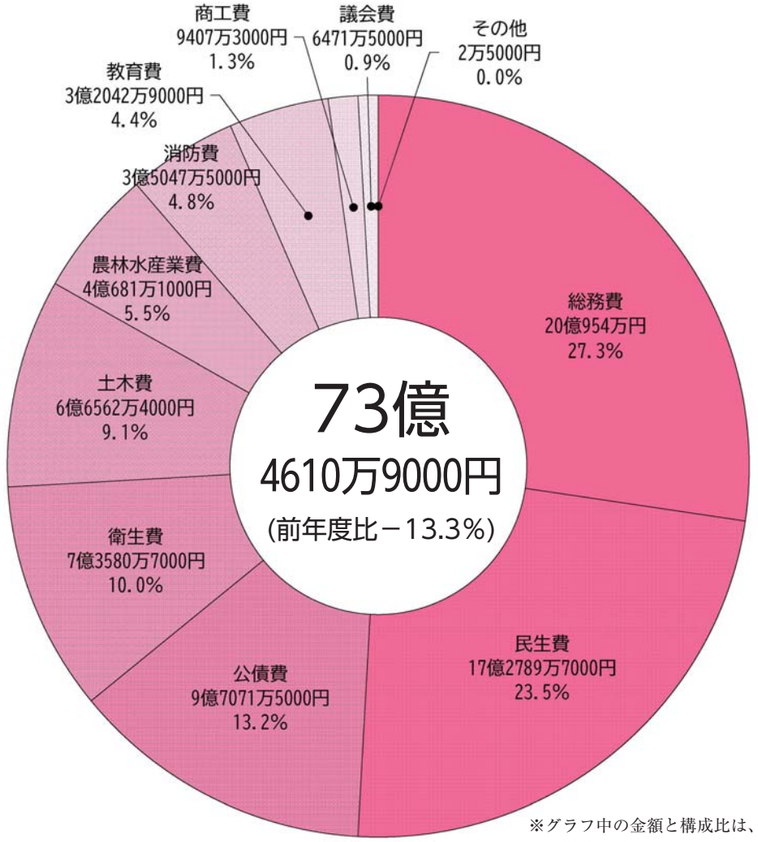
特別会計

特別会計とは、保険税(料)や下水道使用料など、特定の収入によって事業を行う会計のことです。
一般会計と区別して歳入・歳出を処理することで、事業や資金運用の状況を明確化しています。

令和3年度特別会計決算

会計の種類	歳入	歳出	差引
国民健康保険	21億2884万7000円	17億9602万5000円	3億3282万2000円
介護保険	17億9041万8000円	15億3621万円	2億5420万7000円
下水道事業	5億8878万5000円	5億1705万6000円	7172万9000円
後期高齢者医療	1億8299万6000円	1億8123万2000円	176万4000円

一般会計 歳出



※グラフ中の金額と構成比は、端数処理の関係で必ずしも合計と一致しません。

歳出概要

前年度に比べて11億2873万円の減額となりました。

主な要因は、特別定額給付金や防災行政無線デジタル化更新整備事業の完了による、総務費や消防費の減額が挙げられます。

一方、子育て世帯や住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業により、民生費が前年度に比べて1億7313万3000円増額しています。

令和４年度上半期の予算執行状況

新型コロナウイルス関連事業や道路新設改良事業など、12億959万8000円の予算を補正しています。

歳　入

区　分	予算現額(A) 金　額	構成比	収入済額(B)	執行率(B/A)
町税	9億6829万6000円	12.0％	5億5898万8000円	57.7％
地方譲与税	6790万円	0.8％	1900万8000円	28.0％
利子割交付金	100万円	0.0％	12万2000円	12.2％
配当割交付金	100万円	0.0％	197万5000円	197.5％
株式等譲渡所得割交付金	10万円	0.0％	0円	0.0％
法人事業税交付金	100万円	0.0％	399万7000円	399.7％
地方消費税交付金	2億2000万円	2.7％	1億3472万7000円	61.2％
環境性能割交付金	600万円	0.1％	188万5000円	31.4％
地方特例交付金	400万円	0.1％	659万3000円	164.8％
地方交付税	28億5000万円	35.4％	20億5304万7000円	72.0％
交通安全対策特別交付金	100万円	0.0％	50万8000円	50.8％
分担金及び負担金	4505万3000円	0.6％	1373万2000円	30.5％
使用料及び手数料	8021万4000円	1.0％	3332万1000円	41.5％
国庫支出金	9億1140万2000円	11.3％	8557万2000円	9.4％
県支出金	6億4473万9000円	8.0％	1億698万1000円	16.6％
財産収入	390万1000円	0.1％	25万3000円	6.5％
寄附金	5億5400万1000円	6.9％	2億4227万8000円	43.7％
繰入金	9億2953万6000円	11.5％	0円	0.0％
繰越金	5億3399万4000円	6.6％	6億7067万9000円	125.6％
諸収入	2852万1000円	0.4％	1374万6000円	48.2％
町債	1億9956万1000円	2.5％	0円	0.0％
歳入合計	80億5121万8000円	100％	39億4741万2000円	49.0％

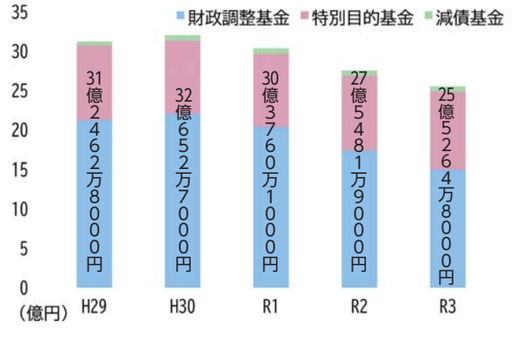
繰越分

区　分	予算現額(A) 金　額	構成比	収入済額(B)	執行率(B/A)
国庫支出金	1億1284万8000円	61.6％	1537万9000円	13.6％
県支出金	21万7000円	0.1％	0円	0.0％
繰越金	3033万5000円	16.6％	3033万5000円	100％
町債	3970万円	21.7％	0円	0.0％
歳入合計	1億8310万円	100％	4571万4000円	25.0％

基　金

基金とは「町の貯金」にあたるもので、財政調整基金、特定目的基金、減債基金に分けられます。

町民１人あたりの貯金
22万8000円



基金名	現在高(R3年度末)
財政調整基金	15億19万6000円
合併振興基金	2億8505万8000円
減債基金	6501万2000円
地域福祉基金	2049万6000円
竜北物産館運営基金	2733万9000円
ふるさと氷川応援基金	2億9715万円
ふるさと振興基金	1119万9000円
平成28年熊本地震復興基金	2068万7000円
森林環境譲与税基金	351万1000円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生基金	1621万5000円
竜北西部学童保育所整備基金	8004万円
土地開発基金	3898万円
国民健康保険基金	7451万8000円
介護給付費準備基金	1億1224万7000円
基金合計	25億5264万8000円

歳　出

区　分	予算現額(A) 金　額	構成比	支出済額(B)	執行率(B/A)
議会費	6316万8000円	0.8％	3470万1000円	54.9％
総務費	27億8447万3000円	34.6％	7億8930万3000円	28.3％
民生費	16億6769万3000円	20.7％	6億9873万7000円	41.9％
衛生費	7億4107万6000円	9.2％	2億4715万3000円	33.4％
農林水産業費	4億2614万円	5.3％	1億6641万5000円	39.1％
商工費	1億151万7000円	1.3％	5091万8000円	50.2％
土木費	5億5959万3000円	7.0％	1億6431万2000円	29.4％
消防費	3億6398万3000円	4.5％	1億6087万1000円	44.2％
教育費	3億5607万4000円	4.4％	1億3861万4000円	38.9％
災害復旧費	2万7000円	0.0％	1万7000円	63.0％
公債費	9億8447万4000円	12.2％	4億8838万1000円	49.6％
予備費	300万円	0.0％	0円	30.5％
歳出合計	80億5121万8000円	100％	29億3942万2000円	36.5％

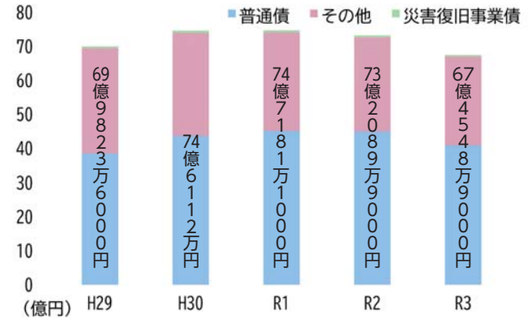
繰越分

区　分	予算現額(A) 金　額	構成比	支出済額(B)	執行率(B/A)
総務費	270万6000円	1.5％	0円	0.0％
民生費	5215万円	28.5％	931万7000円	17.9％
農林水産費	1003万7000円	5.5％	454万6000円	45.3％
土木費	1億1820万7000円	64.5％	2903万8000円	24.6％
歳出合計	1億8310万円	100％	4290万1000円	23.4％

町　債

町債とは「町の借金」にあたるもので、普通債、災害復旧事業債、その他に分けられます。

町民１人あたりの借金
60万2000円



なぜお金を借りるの？

長期にわたって利用される公共施設を整備する場合には、大きな費用がかかるため、その年度の収入だけでまかなうことは資金的に難しいからです。

また、整備する年の住民にばかり税負担するのではなく、毎年少しずつ負担してもらうことで、世代間の負担を公平にする役割もあります。

#デジ活（カツ）

「人の価値」を支える技術

暮らしに身近なものになってきたICT・デジタル技術について、さまざまな情報を発信する連載企画「＃デジ活」。今回のテーマは、介護・福祉におけるデジタル化です。日本国内でますます需要が高まってきているこの分野の現状と課題、デジタル活用による効果についてお届けします。

ニーズが高まり続ける介護・福祉サービス

内閣府が公表した「令和３年度高齢社会白書」によると、総人口に占める65歳以上の人口の割合（高齢化率）は28.8％となっており、少子高齢化が進む日本では、介護・福祉の需要はさらに高まっていくと考えられています。

一方で、業界内では人材不足や給与の低さ、離職率の高さなどの課題も残っています。

また、介護・福祉に関わる財源の多くは行政からの補助金です。全国的にも補助金や税金などの財源が減少していくなか、より良いサービスを維持するには、働く人材が足りなくなってしまうことが、地域を問わず大きな課題となっています。

このままだと、課題はより深刻に

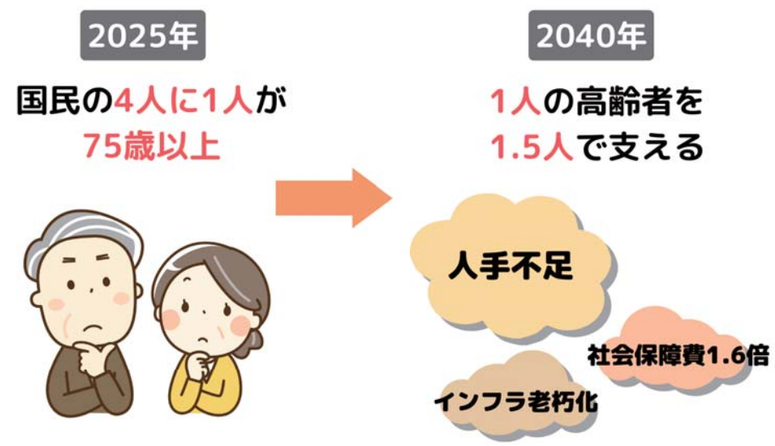
特に、介護業界で大きな節目になる年と言われているのが、「2025年」と「2040年」です。

「2025年」は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる半面、現役世代の人口減少が加速していきます。また企業や法人にとっては、労働力の減少への対応次第でふるいに掛けられるため「2025年の崖」とも言われています。

「2040年」には、団塊ジュニア世代が前期高齢者(65歳～74歳)となり、15～64歳の生産年齢人口は6000万人に急減します。これにより、1人の高齢者を1.5人の現役世代で支える厳しい時代が訪れることになります。

介護を必要とする人は増える一方、介護サービスの担い手は減り、2025年には43万人、2040年には79万人の介護スタッフが足りなくなると言われています。

問題が深刻になる前に、現状を変える取り組みが必要なのです。



デジタルが業界の救世主に？

こうした流れから、介護・福祉業界では「人手に頼らず、最小限のコストで、最大限のサービスを提供する」ために、デジタル技術の活用が注目されています。

例えば、利用者のもとへ訪問するとき、これまでは地図帳から住所を探し、印刷して確認していました。これをデジタルの地図帳にするだけで探す手間が減り、作業時間が大幅に改善されます。

他にも、パソコンで介護記録を管理することで、紙の削減や作業効率を上げるだけではなく、検索や絞り込みが簡単にできるようになります。

近年では記録の電子化だけでなく、パソコンによる情報の共有化や、センサー機器による生活情報の計測・見える化によって、介護・福祉業界のサービス全体の改善が進んでいます。

複数のスタッフによるケアが必要な場合には、利用者に関する最新情報をスタッフ全員が把握できることがとても大きな意味を持ちます。技術活用がうまく機能することで、サービスの品質も高めることができるのです。

介護・福祉分野におけるデジ活事例

タブレットを利用した情報共有

利用者ごとに「健康状態・ケア内容・気付き」などの情報を記録しておくことで、タブレット端末などで常に情報を確認し、全員が同じ品質でサービスを提供できます。また、インターネットに接続された測定機器を活用すれば、血圧や体温のデータが自動で記録され、作業の効率化にもつながります。

勤怠管理をシステム化

スタッフの勤務予定をICTシステムで管理することで、毎月の労働時間や給与の計算にかかる作業を短縮することができます。効率化が進めば時間が確保しやすくなり、スタッフは利用者のケアに専念できるようになります。

センサーを使った見守り

ベッドにセンサーを設置することで、入所者の起床時間や就寝時間、生活の状況などを自動認識できます。これにより、スタッフ人数の少ない夜間の見回り回数を減らせたり、利用者の異常にいち早く気付くことができます。

デジタルは「人」の価値を最大化するもの

介護・福祉分野では、人による直接的な支援に最も価値があります。だからこそ、人による支援以外の負担を減らすために、デジタル技術を活用することが必要です。

課題を見極めながら上手にデジ活を進めることが、介護・福祉における「最小限のコスト、最大限のサービス」につながります。

みなさんの「困りごと」を教えてください

「デジタルが苦手」、「これってデジタルで解決できないの？」、「日常でこんな悩みがある」など、みなさんが暮らしの中で感じている困りごとをお聞かせください。

▲ご意見はこちら

お問い合わせ先　総務課　行政係　☎0965-52-7111

まちの情報は、ホームページや
SNSでも発信しています。

まちのトピックス

文化講演会

9/25　文化センターにおいて、3年ぶりとなる文化講演会を開催しました。

講師に八代市立博物館未来の森ミュージアム学芸員の石原浩(ひろし)さんを迎えた講演会は、「妙見信仰と氷川・八代」をテーマに、八代妙見宮と氷川町の神社の歴史や、明治政府の神仏分離政策による関わり、妙見菩薩の話などがあり、参加者は興味深い内容にうなずきながら聞いていました。

十五夜お月さん演奏会

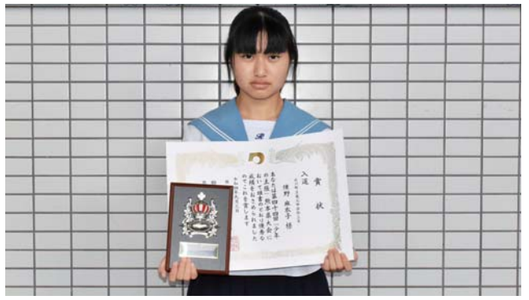
9/25　氷川町出身の佐藤友香(ゆか)さんと尾上奈奈(なな)さんのほか、高山大知(だいち)さんを迎え、3年ぶりとなる十五夜お月さん演奏会を開催しました。

演奏会では、名曲「愛燦燦(さんさん)」や「ハナミズキ」、「涙そうそう」など14曲が演奏され、ピアノや迫力ある歌声、ハンドフルートの優雅な魅力ある音色が響き渡り、参加者は秋の夜長にピッタリな楽しい時間を過ごしました。

グラウンド・ゴルフで国体に出場

9/17～18　上田眞澄美(ますみ)さん(吉本)が、栃木県で開催された「いちご一会とちぎ国体」のグラウンド・ゴルフに、熊本県代表として出場しました。

上田さんはほぼ毎日練習に励み、県内外の大会に出場するなど、精力的に活動していることが認められ、熊本県グラウンドゴルフ協会八代支部からの推薦を受けての出場となりました。



「少年の主張」熊本県大会

9/3　第44回「少年の主張」熊本県大会が津奈木町で開催され、本町からは陳野麻衣子(まいこ)さん(竜北中3年)が参加し、日頃感じていることや考えていることを主張しました。

この大会は、社会の一員として自覚を持って行動する力を育成するとともに、多くの人に理解を深めてもらうために、毎年開催されています。

起業体験～竜北中～

9/29　竜北中の3年生が、チャレンジ精神や創造性、探求心などの「起業精神」を養うため、毎年恒例の起業体験を行いました。

64人の3年生は、飲食店やゲーム会社などを起業し、広報活動や販売などを体験しました。

梨パイを販売した会社「THE PEARS」の片岡聡汰(そうた)さんは、「梨の持つ可能性を広げるために、おいしい梨パイを作りました」と話しました。

チャレンジショップ～氷川中～

9/22　氷川中の3年生が、地域の特産品などの販売体験をとおして、地域の良さを改めて発見する「チャレンジショップ」が開催されました。

4つの店舗に分かれた子どもたちは、店舗のコンセプトに沿って地域の伝統品や特産品、グルメなどを仕入れ、来店した保護者や地域の人に販売するとともに、日頃お世話になっていることへの感謝の気持ちを届けていました。

4年ぶりの梨マラソン

9/23　氷川町梨マラソン大会を4年ぶりに開催しました。

コロナ禍のため、普段より参加人数を減らしての開催となりましたが、県内外から集まった896人のランナーが、秋のフルーツロードをさわやかに駆け抜けました。

また、コースの途中には「給梨所」が設置され、多くのランナーが足を止めて吉野梨に舌鼓を打っていました。

熊本市から来たという参加者は「おいしい梨を食べながら走るのが醍醐味。来年も参加したい」と話していました。

八代海の環境を守ろう

10/1　竜北漁協船着場周辺において、「八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議と清流氷川流水対策協議会の共催で清掃活動を行い、竜北漁協の組合員や町職員など23人が参加しました。

参加者は、消波ブロック付近を回りながら、流れてきた漂着物など約110kgのごみを回収しました。清掃活動などを通して、今後も八代海の環境保全に努めていきます。

祝100歳！伊藤富子（とみこ）さんが長寿表彰

9/29　施設では、かるたに参加したり、計算を楽しんだりして元気に過ごしているそうです。また、伊藤さんは昔から散歩が好きで、現在も歩行器を使って施設内をよく歩いている様子がみられるそうです。

ご家族からは「これまで検診をきちんと受けてきたことや、苦労を苦労と思わない性格が長寿に繋がったと思います」という話しがありました。

空手の全国大会　姉妹で優勝

10/11　松浦詩音（しおん）さん（宮原小5年・写真左）と璃音（りおん）さん（同3年・右）が、愛媛県で開催された「第1回芦原会館全日本SABAKIトーナメント」に出場し、型の部で姉妹揃って優勝という偉業を成し遂げました。普段の練習以外にも、自宅で練習に励んでいるという2人。初の全国大会で緊張したそうですが、うまく力に変えて練習の成果を発揮しました。今後の意気込みについて2人は、「来年開催される世界大会で優勝したい」と話しました。

八代・天草シーライン構想推進大会

10/1　「八代・天草シーライン」構想の早期実現を目指す推進大会が八代市鏡文化センターで行われました。

大会には熊本県選出の国会議員や関係市町村の首長、地元関係者ら約200人が一堂に会し、構想実現に向けて機運を高めました。

大会の模様はYouTubeでオンライン配信され、役場本庁舎で町議会議員が視聴しました。

共に歩んだ夫婦の絆～ダイヤモンド婚・金婚夫婦表彰～

9/28　今年で結婚60周年を迎えたダイヤモンド婚夫婦10組の表彰式と、結婚50周年を迎えた金婚夫婦33組の熊日金婚夫婦表彰伝達式を行いました。

長い歳月をともに歩み、多くの喜びと苦労をともに分かち合ってこられた夫婦に対して、ダイヤモンド婚夫婦には藤本町長から、金婚夫婦には箕島熊日八代支社長からそれぞれ表彰状と記念品が手渡されました。

表彰された夫婦を代表して、早川昇（のぼる）さん（北鹿野）が「夫婦2人揃って元気でこの日を迎えられたことに感謝し、これからも充実した日々を送っていきます」と謝辞を述べました。

▲ダイヤモンド婚を迎えた夫婦

▲金婚夫婦を迎えた夫婦

ダイヤモンド婚10組（昭和37年に結婚）（敬称略）

森本　務・カズ子（中大野）
本田　正視・慶子（町）
中村　春義・キミエ（法道寺）
宮下　照喜・タエコ（北野津）
赤星　益雄・冨美子（原田）
松岡　健一・靜子（早尾南）
髙﨑　紀元・政子（立神）
田中　通・ミサ子（早尾南）
坂井　泰隆・ハル子（新田）
早川　昇・智子（北鹿野）

金婚33組（昭和47年に結婚）（敬称略）

木村　幸俊・芳子（本山）
宮﨑　久義・和子（東網道）
山本　俊一・喜代子（椿）
関本　満範・惠美子（高塚）
千原　髙春・美津子（南鹿野）
山本　彰・照代（柳の江）
小倉　美利・博子（新村南）
野村　佐一・久子（高野道）
竹下　敬士・良子（北鹿野）
河野　俊光・安江（北鹿野）
尾﨑　清一・伊都子（北鹿野）
遠山　重光・あい子（中網道）
杉谷　康男・はるみ（町）
岡本　喜代三・まり子（早尾南）
松田　幹男・住枝（河原）
田中　孝至・くに子（上鹿島）
木村　稔・春美（反甫）
柳　武喜・照美（東上宮）
上田　國夫・日出子（北川）
矢本　善政・安子（原田）
松村　俊介・雅子（東上宮）
緒方　勝美・敏子（立石）
白石　一宏・めぐみ（新村北）
上村　秋義・光代（高野道）
前田　孝雄・美知子（島地）
山下　良一・とよ子（法道寺）
緒方　政秀・たつ子（立石）
松村　隆雄・とき子（南鹿野）
吉田　松男・アツ子（立石）
上田　満春・昭代（下鹿島）
川田　博文・えつ子（吉本）
川本　國廣・幸子（立神）
内園　登・静世（桜ヶ丘）

令和5年度

園児募集

受付期間
11/7(月)~12/2(金)

申込みが必要な人

保護者が就労、求職、出産、病気などの保育できない事情があるため、
新規入園または4月以降の継続入園を希望する人
※在園児の場合は、11月上旬に保育園を通じて、または郵送で通知します。

▲詳しくはこちら

申込場所

・福祉課 子育て支援係　・宮原振興局　・利用希望する保育施設

結果の通知

保育園の利用決定については、原則として令和5年1月下旬に通知します。
※町外保育園の利用希望者は、3月頃になる場合があります。

年度途中の申込み

年度途中の申込みは随時受け付けています。原則として申込み順で利用決定します。

保育施設一覧

市外局番はすべて0965

【私立保育園】
ダーナ保育園　☎62-2010
月乃輪保育園　☎52-1568
東光保育園　☎52-1823
吉野保育園　☎62-4130
宮原慈光保育園　☎62-4435

【私立幼稚園】
竜北東光幼稚園　☎52-8145
ひかわ幼稚園　☎62-4151

【小規模保育園】
ひかわ保育園　☎62-3211

【認可外保育園】
浄立寺保育園　☎52-3076

【病児保育】
病児・病後児保育施設「ハグ・くむ」　☎53-5121

【公立保育園】
常葉保育所　☎62-2232

※常葉保育所は令和6年度末で閉園を予定しています。
令和7年度以降は転園していただくことになりますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　福祉課　子育て支援係　☎ 0965-52-5852

令和4年 11月 請求分から

下水道使用料を改定します

Q1　なぜ改定するの？

下水道事業は、皆さんからいただく使用料で経営することが原則ですが、現在の使用料収入では必要な事業費が確保できていないため、赤字分は税金で補っています。

この課題を解決し、これからも安心して下水道を使っていただくために、使用料を改定する必要があります。

Q2　使用料はどれぐらい上がるの？

今回の改定で、これまで処理区で異なっていた料金設定が統一され、使用料は水量1㎥あたり税抜き146円になります。改定率は竜北処理区で約17%、宮原処理区で約33%です。

例えば、1か月の使用水量が20㎥の家庭では、竜北処理区で460円、宮原処理区で790円の値上げになります。

下水道使用料の改定内容(消費税抜き)

処理区	使用水量	改定前	改定後
竜北	基本料金(8㎥まで)	1,000円	1,168円 (＋168円)
	超過料金(1㎥あたり)	125円	146円 (＋ 21円)
宮原	基本料金(8㎥まで)	880円	1,168円 (＋288円)
	超過料金(1㎥あたり)	110円	146円 (＋ 36円)

下水道切り替え工事費を助成します

町では、下水道処理区域内でまだ下水道に接続していない世帯に対して、工事費の一部を助成しています。

下水道に接続すると、自然環境の保護につながるだけでなく、浄化槽と比較して年間1万円以上費用を抑えられたり、メンテナンスフリーになるなど、多くのメリットがあります。

切り替え前の処理方法	助成金額
くみ取り	8万円
単独浄化槽	4万円
合併浄化槽※	3万円

※合併浄化槽設置時に助成を受けた場合は2万円

接続費用の目安

工事条件などによって変わりますが、目安は1mあたり12,000円※です。例えば、トイレ・風呂・キッチンなどの水回り設備から公共汚水ますまでの距離が20mの場合、24万円程度です。

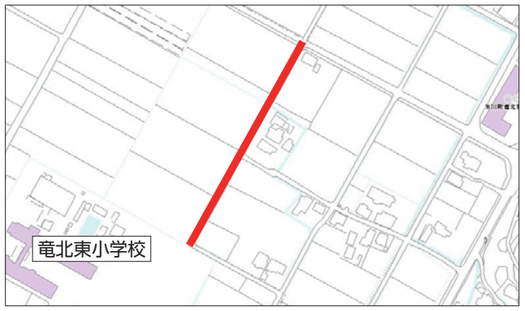
※便器やコンクリートなどの撤去費用は含まれません。

▲詳しくはこちら

お問い合わせ先　建設下水道課　下水道係　☎ 0965-52-5862

工事による通行規制

地区　笹尾　　**工期**　令和５年３月10日㊎
規制　全面通行止



問　建設下水道課　建設係　☎0965-52-5856

まちつくり酒屋でのイベント

レザークラフトさくら　作品展

硬い革や柔らかい革、珍しい革、色々あります。何を作るか考えるのは楽しく、作っている時は無心になれます。

期　間　11月4日㊎～10日㊍
時　間　10時～17時（最終日は16時まで）

開運美文字展

筆跡診断で自分を知り、筆跡を改善しませんか？

期　間　11月22日㊋～30日㊌
時　間　10時～17時（最終日は16時まで）
筆跡診断体験日　11月26日㊏・27日㊐・30日㊌
体験費用　1,500円（飲み物付き）
問　まちつくり酒屋　☎0965-53-5550
　　定休日：月・祝日

正月料理に使える！工夫の料理教室

氷川町食生活改善推進の会による料理教室を開催します。
手間をかけずに手軽にでき、見栄えも良いレシピです。

日　時　12月９日㊎10時～11時30分
参加費　500円　　**場　所**　氷川町公民館 調理室
持参品　エプロン、三角巾、マスク、ハンカチ、持ち帰り用容器（新型コロナ対策のため）
締　切　11月30日㊌15時（先着10人）
問　町民課　保健予防係　☎0965-52-7154

くまもと子ども・若者“よりそい”シンポジウム

日　時　11月５日㊏　13時
会　場　くまもと県民交流館パレア
対象者　保護者、支援者
問　熊本県子ども・若者総合相談センター COCON　☎096-387-7000

▲詳しくはこちら

11月30日は「人生会議の日」です

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって話し合い、共有する取り組みを「人生会議」といいます。
センターでは、地区に出向いて啓発講座を行っています。
興味がございましたらお声かけください。
問　八代地域在宅医療・介護連携支援センター（八代市高齢者支援課内）　☎0965-33-4682

▲詳しくはこちら

各種相談（市外局番 0965）

相談内容	日　時	場　所	お問い合わせ先
【要予約】認知症相談（もの忘れなど）	11月2日㊌ 14時～	宮原福祉センター	地域包括支援センター ☎62-3456
【要予約】消費生活相談（消費者トラブル、お金のお悩みなど）	11月9日㊌ 10時～17時	役場相談室	総務課　生活安全係 ☎52-7111
【要予約】弁護士相談（消費者トラブル、お金のお悩みなど）	11月18日㊎ 13時30分～16時	宮原福祉センター	
特設人権相談(人権問題、近隣関係など)	12月5日㊊ 10時～15時	宮原福祉センター	総務課　行政係 ☎52-7111
就職相談(履歴書の書き方、面接指導など)	10時～17時（土・日・祝日以外）	県南広域本部１階	ジョブカフェやつしろ ☎33-3756

不法投棄や野外焼却は禁止されています

やめよう！ごみの不法投棄

農道や山林の道路脇など、人目につかない場所にごみが不法投棄されています。捨てたごみが紙くず、ビン、缶であっても罰則の対象になります。

不法投棄を無くすために

町は、警察などと連携して不法投棄パトロールを行っています。なお、私有地に不法投棄されている場合の処理責任は、土地所有者になります。

野外焼却（野焼き）は禁止されています

庭先や空き地などでごみを燃やすと、煙や灰の発生や悪臭など、周囲に迷惑が掛かります。ごみは燃やさず、分別して適正に処理しましょう。
野外焼却にも懲役・罰金などの罰則があります。
下記の野外焼却は例外となりますが、周囲の住民生活に悪影響となる場合は指導対象となります。
・どんど焼きなどの風俗慣習上の行事
・籾殻（もみ）や稲わらの焼却など業務上やむを得ないもの
・落ち葉焚き、たき火
問　町民課　戸籍環境係　　☎0965-52-5851

お出かけはマスク戸締り火の用心

11月９日㊌～15日㊋の７日間、秋の全国火災予防運動が行われます。
寒い時期になると空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。
火災を未然に防ぎ、大切な命や財産を守りましょう。
問　総務課　生活安全係　☎0965-52-7111

山火事にご用心

山火事は、春先や秋から冬にかけて多く発生します。山火事の多くは、ちょっとした火の取扱いの不注意でが原因です。貴重な森林を一瞬で失わないために、以下のことに注意しましょう。
・枯草などのある場所ではたき火をしない。
・強風時や乾燥時には、たき火、火入れをしない。
・火入れを行う際は許可を受け、必要な体制をとる。
・喫煙は指定場所で行い、後始末を確実にする。
問　農業振興課　農産係　☎0965-52-5854

ペットについて考えましょう

犬や猫などのペットを飼っている人は、周りに迷惑をかけないよう、以下のことに注意しましょう。

犬を飼っている人

・生涯１回の登録手続きと、毎年１回の狂犬病予防注射を行いましょう。
・飼い犬が亡くなった時や飼い主が変わった時、転出・転入する時はご連絡ください。
・散歩の時に出たフンは必ず持ち帰ってください。道路や私有地に残したままにすると、トラブルの元になります。

猫を飼っている人

・猫は子どもを増やす予定がなければ不妊去勢手術を行ってください。
・室内で飼うようにしてください。
・迷惑とならないよう、食べ残しやフンの後始末をしてください。
・野良猫へのえさやりはしないでください。

これからペットを飼う予定の人へ

・「ペットを最後まで世話できるか」よく考えてから飼いましょう。適切な世話が難しければ、飼わないと決断することも大切です。
・周辺地域を汚したり、迷惑をかけたりしないようにしましょう。

問　町民課　戸籍環境係　☎0965-52-5851

氷川っ子 スクールニュース

各校の「氷川っ子」の取り組みを紹介します。

地震に備えて避難訓練

竜北西部小

9月28日(水)の昼休みに、地震に備えて避難訓練を実施しました。子どもたちは、運動場や教室で過ごしていましたが、揺れが収まるまでは「姿勢を低く、頭を守る、動かない」の3つの安全行動を行い、気をつけて避難することができました。訓練では、CS委員さんや保護者からいただいた防災頭巾を使わせていただきました。

「応援うちわ」で地域をより元気に!

竜北東小

「梨マラソン大会の成功に貢献しよう!」という思いを持って、CS委員の皆さんと一緒に応援うちわを作りました。

大会当日は、子どもたちをはじめ、保護者や地域の皆さんがうちわを元気に振って応援してくださいました。1人ひとりが地域を元気にする主役だと実感した1日になりました。

三神宮秋季例祭について学びました

宮原小

毎年10月13日に、五穀豊穣の感謝祭として三神宮秋季例祭が行われます。
今回、伝統ある地元の祭りを5・6年生に詳しく学んで欲しいと、CS委員の村山賢一(けんいち)さんに祭りについての講話をしていただきました。子どもたちは、祭りの歴史や地元の人の思いを聞き、祭りへの参加の気持ちを高めていました。

地域への貢献 ～梨マラソン大会ボランティア～

竜北中

学校は、CS委員の皆さんを中心に、地域学習や職場体験など、多くの場面で地域の皆さんに支えられています。

日頃お世話になっている地域の皆さんに、少しでも貢献しようと「氷川町梨マラソン大会」においてボランティア活動を行いました。

また、参加者へ歓迎の気持ちを伝えるため、各学級で作成したカードを、参加賞の梨の手提げ箱に入れさせていただきました。

3年ぶりフルスペックへ! 「Work Work トライ やる!」

氷川中

2学期は、氷川中伝統のキャリア教育体験学習でスタート!9月21・22日に実施した2年生の職場体験と3年生のチャレンジショップは、12月の1年生農業体験とあわせ、子どもたちが氷川町の魅力を再発見し、地域の皆さんとふれ合い、日頃の感謝を表す絶好の機会です。

久しぶりで不備もあったかと思いますが、皆さんの温かいお心遣いで素晴らしい体験ができました。本当にありがとうございました。

コミュニティ・スクールだより

11月5日(土)に「第3回氷川町CSの日」を開催します

「第3回氷川町CSの日」に向け、各中学校区の関係者全員で準備を進めてきました。

今年度は、熊本県教育委員会から「地域学校協働活動モデル地域」に指定されているので、関係者の視察も見込まれます。

これまで、中学生を中心に何度も話し合いをしてきました。それぞれの力を発揮して、応援・ご協力いただいた地域の皆さんにも喜んでいただければと思います。

CSの日の活動内容など、詳しくは11月号の折り込みチラシをご確認ください。

竜北中学校区

▲小学生に伝える内容を深める中学生

氷川中学校区

▲地区ごとに関係者が集まって最終打合せ

問　氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局（学校教育課内）　☎0965-52-5859

地域学校協働本部だより

くまもと「親の学び」プログラム活用

令和5年度に小学校入学予定児童の保護者を対象に、くまもと「親の学び」プログラムの講座を行い、親子の交流や学校生活などの講座内容を通して保護者同士のつながりをつくる機会となりました。

PTA行事や研修など、活動に合わせた講座ができますので、お気軽にお声かけください。

▲くまもと「親の学び」プログラムの様子

中学生の活動を応援しています

氷川中ではチャレンジショップ(3年生)と職場体験(2年生)を、竜北中では起業体験・マルシェ(3年生)と職場体験(2年生)が行われ、地域学校協働本部では、講座や試作品作りのサポートなどを行いました。

中学生もこのような活動ができることが嬉しいようで張り切っていました。

▲梨農家さんでの職場体験の様子

問　氷川町地域学校協働本部（生涯学習課内）　☎0965-52-5860

けんこうだより

便利な野菜商品が増えてます

野菜を毎日、できれば毎食食べないといけない…とは思いつつ、なかなか食べられていないと感じている人も多いのではないでしょうか？

そんな野菜不足を感じている人向けに、さまざまな野菜商品が販売されています。

忙しい人や料理がちょっと苦手な人は、ぜひ活用してみてください。

例えばこんな商品があります

冷凍野菜

冷凍野菜はスーパーはもちろん、最近はコンビニでも売られています。

複数の野菜が入ったものや揚げてあるもの、野菜と一緒にお肉が入っていて、そのまま炒めれば完成する商品もあります。

カット野菜

カット野菜は、生のままサラダとして食べられるものや、炒め物や煮物などに使えるものがあります。

色々な種類の野菜が入っていて、値段も手頃なものが多いので、特に１人暮らしの人には便利な商品です。

この他にも、たくさんの野菜商品があります。

どんな野菜商品があるのか、買い物に行った時に探してみると面白いですよ。

冷食野菜を使った簡単な料理例

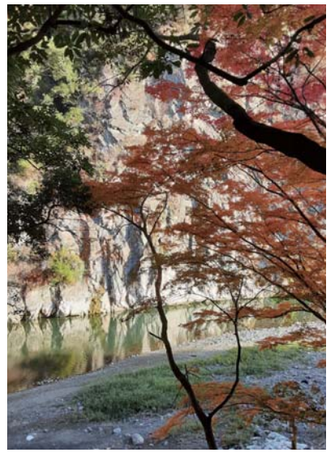
冷凍ほうれん草　＋　のり（パラパラに砕く）　＋　しょうゆ（お好みの量）　＝　混ぜたら完成

※ほうれん草は、冷凍のまま調理して OK です。常温で２時間程度で食べられる状態になります。

お問い合わせ先　町民課　保健予防係（健康センター）　☎ 0965-52-7154

立神峡だより

今年も紅葉の便りが届きます



立神峡の紅葉は年々有名になり、最近ではマスコミからの取材なども多く、前撮りも来ています。つまり、まだ葉が色づく前にカメラで撮影し、11 月後半には紅葉の写真を見せて放送する方法です。

また、その時期になると、ニュース後の天気予報などで紅葉の見頃を放送されます。その結果、昨年は連日多くの観光客が見物に来られました。

植栽した紅葉も年々大きくなっています。遊歩道にも植栽しており、年々きれいになる公園を励みに頑張っています。今年も約 200 本以上を植栽しました。

9 月の台風の影響で、五家荘の紅葉が見える道路は現在通行止めになっています。その分、立神峡に紅葉を見に来る人が増えるかもしれません。

ぜひ皆さんもお越しください。

夏休みを活用して学生たち連日宿泊に訪れています

近年は、大学生の宿泊も少なかったのですが、新型コロナウイルスの影響でようやく落ち着きつつあり、以前のように学生たちの宿泊が増えてきています。

今回は、佐賀大学のバレーボール同好会の学生が 40 人近く訪れ、２泊してくれました。学生たちの SNS 発信力は目覚ましく、「＃立神峡」でどしどし発信するようにお願いしました。このように、宿泊者にお願いすることが１番効果的だと思っており、日々実践しています。おかげで８月に引き続き、９月の立神峡ホームページのアクセス数は、157,800 回となりました。

今後とも、町民の皆さんのご支援を頂き、さらなる数字を目指したいと思います。

キャンプ先を選んだのは観光地と併設していたから

立神峡は、キャンプサイトの利用も年々増加傾向にあります。

また、キャンプブームもあってキャンプ場は年々増加しており、キャンパーに取っては選び放題です。

熊本県出身のタレント「ヒロシ」さんも以前、立神峡に訪れたことがあり、今回出版される本で立神峡も紹介されます。

福岡県から訪れた女性２人に、立神峡を選んだ理由を聞くと「観光地と併設していたから」とのことで、ビックリしました。なるほど、そういう考えがあるとは。すっかり打ち解けて、「また来ます」とのこと。

またリピーターを獲得しました。

お問い合わせ先　立神峡公園管理棟　☎ 0965-62-1543　FAX　0965-62-1546　定休日（火曜日）

人権啓発コーナー

公害問題・環境問題を学ぶ

氷川町人権啓発推進協議会の社会教育部会で、水俣病資料館と熊本県環境センターに視察研修に行きました。

水俣病は、工場から排水されたメチル水銀に汚染された魚介類などをたくさん食べることで起こったメチル水銀中毒です。１９６８年に公害病として認められましたが、今もさまざまな症状で苦しんでいる人々がいます。そして、差別や偏見、あらぬうわさが流され、著しく人権侵害を受けています。

私たちは、この水俣病が起きたことから公害問題・環境問題への大きな関心を持ち、水俣病に対する正しい理解と認識を深め、１人ひとりが環境を守る取り組みに力を入れましょう。

▲水俣病資料館

お知らせ

「高齢者の人権」がテーマにした人権啓発動画を上映します。
日時　11月11日㊎　13時30分～
場所　文化センター

問　生涯学習課　☎０９６５－５２－５８６０

八火図書館だより

76回目の読書週間の期間（11月9日まで）になりました。今年の標語は「この一冊に、ありがとう」で、心が震える読書体験や本に関わるすべての人への感謝を込めてあるそうです。図書館では、色んなジャンルの本を揃えています。まずは一冊手に取って、この機会に新しいことにチャレンジしてみませんか。

新着図書紹介

一般書

嘘つきジェンガ
辻村　深月

とんこつQ&A
今村　夏子

早番にまわしとけ
キタハラ

ストレス脳
アンデシュ・ハンセン

児童書

ねずみくんはカメラマン
なかえ　よしを

タコとだいこん
伊佐　久美

その事件、こども弁護士におまかせ！
山崎　聡一郎

長い長い夜
ルリ

今月の「人」
～ルーシー・モード・モンゴメリ～

ルーシー・モード・モンゴメリは、カナダの小説家です。30歳で書き始めた「赤毛のアン」のシリーズが熱狂的な人気を呼びました。

生涯に20冊の小説と短編集を書きましたが、特に「赤毛のアン」は何度も映画化され、40か国語に翻訳されるなどの成功を収めました。

おすすめ図書

やっぱり食べに行こう。
原田　マハ

パリ、ニューヨーク、ロンドン、スペイン、ロシア、京都、蓼科…。いざ、アートと小説と美味探訪の旅へ！世界中の美味しい料理や旅行体験をまとめたエッセイ。

問　八火図書館　☎０９６５－６２－３４８９

お知らせ～読書感想文・感想画の募集～

八火図書館では、読書感想文と感想画を募集します。読後の感想を作文や絵で表現してください。
指定図書はありません。募集要項や原稿用紙は、八火図書館のカウンターにあります。
締切　12月2日㊎　　提出　八火図書館（小中学生は各学校へ提出）

地域おこし協力隊　活動レポート㉓

▲9月の料理教室では、氷川町産のショウガとレンコンを使って「鶏むね肉のジンジャーめんつゆ漬け」など、4種類の料理を作りました。

▲9月14日の学校給食は、私が考案した「もち粉入りお好み焼き」が出ました。「モチモチでおいしい」と子どもたちに好評でした。

▲道の駅竜北開駅20周年記念のイベントが竜北公園で開催され、「ぶどうすくい」のお店を出店しました。

料理教室～もち粉で作る水餃子、サツマイモ餃子～

日　時　11月23日㊌　午前の部10時、午後の部13時30分（各定員10人）
場　所　氷川町公民館　調理室　　参加費　500円（当日徴収）
申込期限　11月16日㊌までに電話で申込み
持参物　エプロン、三角巾、マスク、タオル、保冷バッグ、水筒
申込先　地域おこし協力隊　蜂須（農業振興課内）　☎0965-52-5854

▲インスタグラム

町民文芸

投稿先：〒869-4814　氷川町島地642番地
企画財政課宛（毎月5日必着）

短歌

新築のまばらな庭のホンツゲを
愛でし母去り四十年
西上宮　村内　一誠

農ゆずり黄金の風もややさびしい
太き手の平にぎりしめおる
西野津　古崎　スエノ

澄み空の彼岸花の鮮む咲く
土手の道辺の秋色の香
西野津　古崎　栄子

我が町の名産梨を送らんと
物産館へと足を運べり
吉本　髙橋　澄子

俳句

庭褒めし母の形見のツゲ枯れる
西上宮　村内　一誠

初菜もむ塩のかげんとごまの香も
西野津　古崎　スエノ

一睡し血圧計る夜長かな
西野津　古崎　栄子

秋風や爽やに揺らす洗い髪
吉本　髙橋　澄子

「雪国」VS「山の音」

法道寺　本田　花風

そしてこれが最後のシーンである。「ある日曜の夕飯時、信吾は一家七人でもみじを見に行こうと提案、食事のあと、座敷からからす瓜が重そうに実っているのを見た信吾は、それを菊子に伝えるが、食器を洗う音で聞こえないようだった。」

「山の音」は凡て主人公信吾の心理を通して描かれているという点で一種の心理小説である。よって主人公のあり方を中心に見ることになり、テーマも無論そこから導き出される事になる。信吾の人間像およびその心境とは如何なるものであるか読み解けるのか、多分困難であろう。

「雪国」のフィナーレ、天の河が流れる鮮烈なシーンに比べると、この「山の音」のラストはなんとも日常的で平穏を感じる家族の姿である。しかし、家族七人の食事後の場面で、信吾は菊子にだけ声を掛ける。信吾がはっきり手を出して妻の体に触れるのは、もういびきをとめる時くらいである。そんな六十二歳の信吾が、可憐な嫁の姿に若々しい恋心を揺さぶられる老人のくすんだ心境がラストに描かれている。

信吾は六十二歳で老人として描かれている。作品執筆中の川端は五十過ぎ、六十過ぎの信吾を描くにあたって川端自身も己に老人を感じていたのだろう。

令和４年(2022年)11月　カレンダー

1	火	
2	水	福　認知症相談　14時～　宮原福祉センター
3	木	町　可燃ごみ収集なし 生学　氷川町文化祭　9時～　竜北体育センター
4	金	生学　氷川町文化祭　9時～　竜北体育センター
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	総　消費生活相談　10時～17時　役場相談室
10	木	税　住民税（特別徴収）納期限・口座振替日
11	金	農地　農業委員会総会 13時30分～ 災害対策室
12	土	
13	日	町　マイナンバーカード休日申請・交付日 9時～17時　町民課窓口、宮原振興局
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	総　弁護士相談 13時30分～16時 宮原福祉センター
19	土	
20	日	町　資源物分別収集日（リサイクル）
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	町　マイナンバーカード夜間申請・交付日 17時15分～20時　町民課窓口、宮原振興局
25	金	税　集合税口座振替日 農地　農地法関係申請締切
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	税　集合税納期限

12月で1歳になるお子さんを広報紙に掲載しませんか？

応募期限　11月4日㊎

▲応募はこちら

乳幼児健診情報

日	健診名	対象者
22日㊋	1歳6か月児健診	R3.4～5月生
29日㊋	4か月児健診	R4.7月生
	7か月児健診	R4.4月生

※会場は健康センターです。

問　町民課 保健予防係　☎0965-52-7154

休日当番医（市外局番 0965）

日	病院名	電話番号
3日㊍	松村眼科医院	52-0131
	緒方内科医院	62-2013
	★八代薬剤師会センター薬局	62-8762
6日㊊	保田医院	52-0037
	★堤薬局	52-0424
13日㊐	よかと整形外科リウマチクリニック	46-8110
	前田内科医院	52-1310
	★新光調剤薬局	52-3469
20日㊐	尾田内科医院	52-8011
	横田診療所	67-2010
23日㊌	荒木皮ふ科医院	52-8777
	松本医院	52-0330
	★つばき調剤薬局	52-7805
	★八代薬剤師会センター薬局	62-8762
27日㊐	上村整形外科医院	62-3377
	伊藤医院	52-8091

※★は当番薬局です。

※変更になることがあります。最新情報は「くまもと医療ナビ」でご確認ください。

▲くまもと医療ナビ

定住自立圏イベント情報

八代市　五家荘紅葉祭

九州の秘境と呼ばれる泉町「五家荘」の紅葉や美しい渓谷を見に来ませんか？交通規制など、詳しくは五家荘ねっとを確認ください。

日　時　10月30日㊐～11月30日㊌

場　所　五家荘一帯

▲五家荘ねっと

問　泉町紅葉祭実行委員会事務局　☎0965-67-2111

３年ぶりの「ボタマ」

キッチンカーやハンドメイド雑貨など67店舗が出店するほか、ステージイベント、パトカーや消防車などの展示など、1日中楽しめるマルシェ「ひかわボタニカルマーケット」を3年ぶりに開催します。

日時　11月12日㊏・13日㊐　10時～16時

会場　竜北グラウンド

問　ひかわボタニカルマーケット実行委員会

☎0965-62-2021

伝言板

新国際空手道連盟 芦原会館 空手道場生募集

明るく、楽しく活動しています。見学は自由です。活動内容など、詳しくはSNSをご確認ください。

練習日

月・水：少年部 19時～20時、一般部 20時～21時

金：少年部・一般部　17時45分～18時45分

練習場

月・水：氷川中武道場　　金：東陽小体育館

問　芦原会館八代支部　本村　☎050-5875-8366

オータムフェスin氷川を開催

県内のバンド8組が出演して、チャリティーコンサートを開催します。

このコンサートは、自然災害からの復興支援を兼ねており、日本赤十字社や共同募金のブースを設けてグッズの販売や募金活動を行います。

日時　11月27日㊐　10時～15時30分

場所　竜北公園

入場　無料

問　音楽フェス実行委員会　☎090-6632-3113

戸籍の窓口

人口・世帯（令和4年9月末現在）

人口	総数11,205人（－19）
	男5,158人（－8）、女6,047人(－11)
世帯	4,552世帯（＋1）

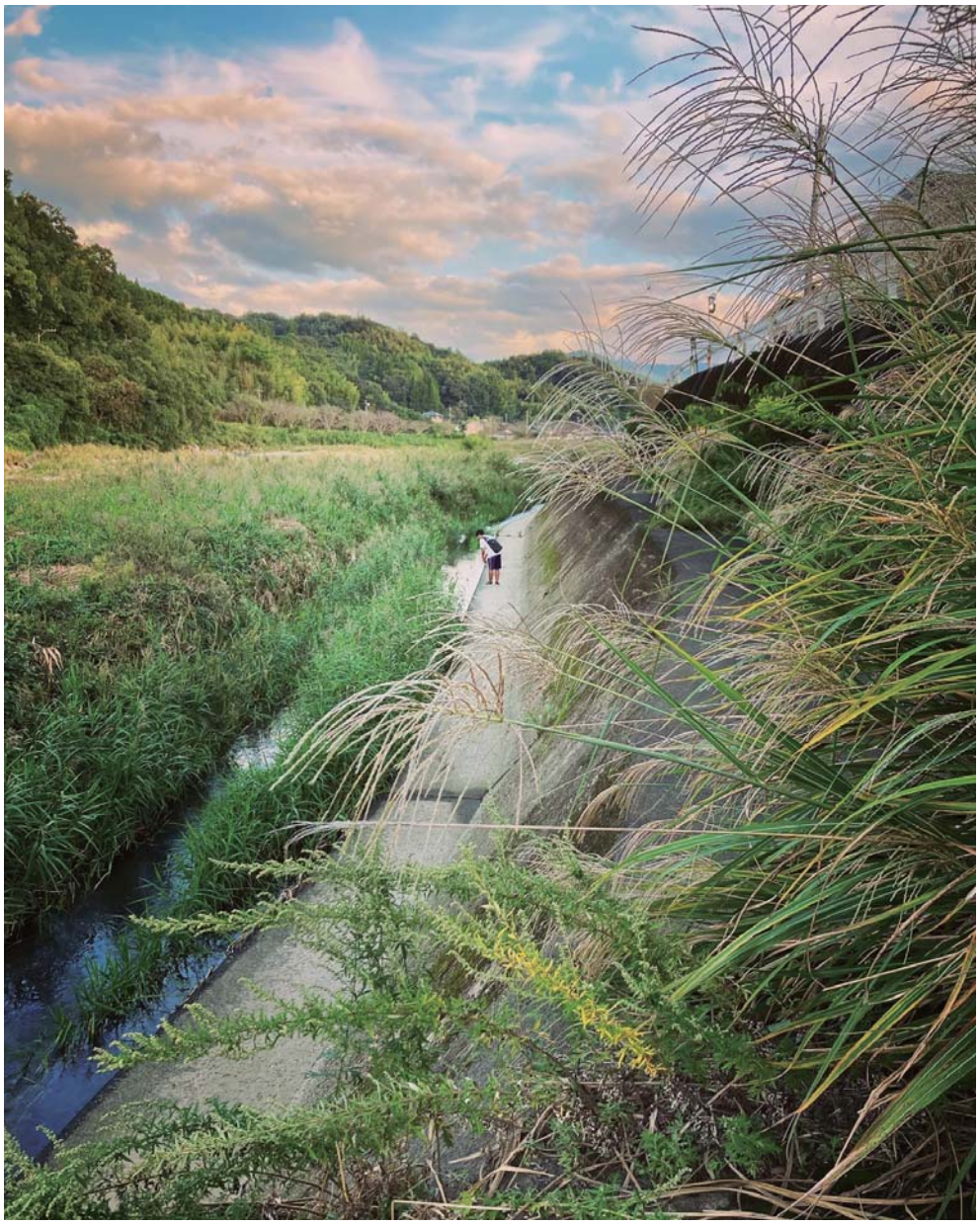
すこやかに

出生日	氏名	父	母	行政区
9月16日	塚田　凌空（りく）	源治	幸世	若洲

やすらかに

死亡日	氏名	行政区
9月1日	沼里　ワカノ	反甫
9月6日	島松　ミスエ	北鹿野
9月7日	尾﨑　昭雄	南鹿野
9月11日	下田　サカヱ	若洲
9月19日	髙田　義久	川上
9月20日	岩本　辰義	島地
9月21日	白石　ヨシ	高塚
9月21日	松永　光則	柊
9月23日	白石　雅義	高塚
9月24日	中村　綾子	法道寺
9月24日	坂井　房子	東網道
9月26日	作村　キミ子	立神
9月27日	太田　忠生	若洲
9月29日	西村　勇武男	早尾南

問　町民課　戸籍環境係　☎0965-52-5851



#ひかわdays

撮影　lune1975soleilさん
場所　東上宮

インスタグラムに町指定のハッシュタグ『#ひかわdays』をつけて
投稿された写真を紹介します。お気軽にフォローしてください！

読者アンケートはこちら

まちのホットライン（市外局番0965）

総務課	行政係・生活安全係	52-7111
企画財政課	企画係・財政係	52-5850
税務課	住民税係・資産税係・徴収係	52-5853
町民課	戸籍環境係・国保年金係	52-5851
	保健予防係	52-7154
福祉課	福祉係・子育て支援係・介護保険係	52-5852
農業振興課	農政係・農産係	52-5854
農地課	整備係	52-5855
	管理係（農業委員会）	52-5861
建設下水道課	建設係	52-5856
	住宅係・下水道係	52-5862
地域振興課	総合窓口係	62-2311
	地域振興係	62-2315
学校教育課	学校教育係	52-5859
	学校給食係	52-6202
生涯学習課	生涯学習係・社会体育係	52-5860
議会事務局	事務局	52-5858
出納室	会計係	52-5857
八代生活環境事務組合		62-2049
社会福祉協議会		52-5075
竜北福祉センター		52-5121
宮原福祉センター・地域包括支援センター		62-3456
氷川町公民館		62-3313

発行・編集：氷川町役場 企画財政課 〒869-4814 熊本県八代郡氷川町島地642番地　☎0965-52-5850　FAX：0965-52-3939　印刷：シモダ印刷株式会社